

## IIC REVIEW 60号発刊にあたって

代表取締役社長

柏崎 昭宏

*Kashiwazaki Akihiro*



当社の技術小誌「IIC REVIEW」は、平成元年4月の創刊から年2回の発刊を続け、このたび創刊から30年、第60号を迎えることができました。本誌は当社の技術成果の積み重ねの記録であり、また技術への挑戦の足跡です。その意味で一度も欠刊せずに30年にもわたり、歴史を刻むことができたことは当社全員にとっての誇りです。これは、偏<sup>ひとえ</sup>にIHIをはじめ当社の事業活動にご支援いただいた皆様のご指導、ご鞭撻<sup>べんたつ</sup>の賜物です。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、本号では、検査、計測、機器装置、制御システムの4つの事業部と研究開発センター、さらに関係会社の高嶋技研株式会社ごとに現状の製品・サービスをご紹介しますとともに、将来の方向性について整理することとしました。ご一読いただければおわかりのとおり、当社は検査、計測分析のみならず制御やものづくりなど非常に幅広い技術をカバーし、かつ多彩な製品・サービスを保有しています。お客さまも、IHIをはじめとする重工業、各種素材、自動車、食品、医療などの製造業から、電力、鉄道といったサービス業まで多岐にわたり、さらには税関や裁判所などの官公庁にも当社の製品・サービスが活用されています。

当社のような事業規模の会社でこれほど多く製品・サービスを幅広く展開している会社は珍しいのではないのでしょうか。しかし、このような多様性だけでは必ずしも強みとはいえません。多様性をゆるぎない“強み”にするには、事業部の垣根を越えて検査、計測、制御、ものづくりといった保有技術を重層的に融合させ、シナジーを生み出すことが不可欠です。そして、お客さまが求めている真のニーズを見極め、新しいソリューションを提案していくことが必要です。目指すは平昌オリンピックのスピードスケート、女子パシュートチームです。チームワークと戦略、さらに人一倍の鍛錬によって一人ひとりの実力以上の力を発揮して、見事に金メダルを獲得しました。当社もこの快挙にあやかりたいと思っています。

当社は「技術をもって社会の安心・安全に貢献する」を理念としています。技術こそ当社の原点です。弛まぬ技術研鑽<sup>たゆさん</sup>を継続し、本誌をさらに充実させるとともに、保有する技術を融合しシナジーを生み出すことによって製品やサービスの変革に挑戦してまいります。皆様の一層のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。